

令和3年度都留市教育研修センター事業計画

教育委員会をはじめ、学校・地域、関係機関との連携を図り、都留市教育研修センター条例に基づき、都留市の学校教育の充実と振興に寄与するために下記の事業を行う。

1 運営委員会の開催

都留市教育研修センター運営委員会設置要綱第2条により、研修センターの運営について協議し、事業の改善と充実を図る。

- 第1回運営委員会 令和3年 5月10日（月）
 - 第2回運営委員会 令和4年 2月18日（金）
- ※必要に応じて臨時に開催することができる。



2 各部の事業

(1) 研修部

①新採用・新赴任教職員研修 令和3年5月25日（火） 午後2：00～

- ・場所：まちづくり交流センター 3F 多目的ホール
- ・講師：宮下 聡 特任教授（都留文科大学）
- ・学習会（講演会）
- ・教育に関わる施設の臨地研修

②教員研修

(1)長期・短期県外研修の実施

○長期県外研修

- ・実施要項により、5名（男女）以内の教員を派遣する。（5泊6日交通費・宿泊費公費）
- ・4月 公募により募集開始 学校経営研究会へ推薦依頼
- ・5, 6月 派遣教員の決定
- ・7月 研修校及び当該教育委員会への対応
- ・9月～12月 研修実施
- ・1月 研修報告書作成 全職員へ配布

○短期県外研修

- ・実施要項により、「公開研究会」等に教員を派遣する。
- ※学校経営研究会・教育協議会と協議を進め、実施する。

○公開研究事業の開催

- ※学校経営研究会・教育協議会と協議を進め、実施する。



(2)G I G Aスクール構想に関わる研修の実施

- ※学校経営研究会・教育協議会・情報教育研究委員会等と連携し、実施する。

③学校司書研修会・学校支援員研修会の実施

④他団体の実施する研修会への参加

(2) 研究部

①委嘱研究委員による研究 情報、環境、社会科副読本の3部門について研究推進

※ 委嘱式及び第一回委員会実施予定日 令和3年5月21日(金)

- 情報教育研究委員会 令和3年4月20日(火)
- 環境教育研究委員会 令和3年5月17日(月)
- 社会科副読本・資料作成委員会 令和3年5月20日(木)

○情報教育研究委員会

- ・GIGAスクール構想の実施に向けた情報機器等の活用研修
- ・電子黒板およびタブレット端末等導入に関わるICT活用の研究と実践
- ・統合型校務支援システムの年次移行と活用
- ・ホームページ管理者研修と更新作業
- ・情報教育の実践(情報モラル教育等)
- ・市への各種要望事項について
- ・委員会独自の研究

○環境教育研究委員会

- ・各学校における環境教育の実践(実践集の作成)
- ・教科書改訂に伴う実践集の見直し、改訂
- ・小中学校における環境教育副読本を利用した授業実践
- ・都留市環境保全市民会議への参加・連携
- ・委員会独自の研究

○社会科副読本・資料作成委員会

[小学校部会]

- ・小学校社会科副読本に関わる改訂作業
 - ・R3 … 改訂準備, 業者との連絡調整, 改訂作業
 - ・R4 … 改訂作業, 印刷依頼
 - ・R5 … 4月使用開始
- ・前回改訂版の配布(小学校3年生)

[中学校部会]

- ・市教協で活用資料の検討
- ・印刷方法の検討(11月頃までに)
- ・改訂版「税」に関するパンフレットの授業での活用

②学力の向上に関する会議

- ・学力の定着・向上を図るべく, 取り組み内容等各会(各学校)の代表者による検討会
- ・「家庭学習の手引き」の配布(小学校1年生)

③英語(外国語)教育に関わる会議

- ④教育協議会研究部活動への支援
- ⑤教育に関わる調査、情報収集、提供

(3) 学芸的行事部

※教育協議会行事部の児童生徒の学芸的行事への事務及び渉外の支援

①親善音楽会

- ・期 日 令和3年10月28日(木) (道志小中にも案内を出す予定)
- ・会 場 うぐいすホール
- ・参加者 市内小中学校11校と西桂小中2校参加予定

②演劇・音楽鑑賞会

- ・期 日 令和3年6月24日(木)
- ・会 場 うぐいすホール
- ・対 象 市内中学校全生徒が鑑賞
- ・内 容 演劇：劇団たんぽぽ 演目『夏の庭』

③理科自由研究審査会

- ・ 9月28日(火) 4年～中学生(学校代表)の研究審査会

④書きぞめ大会 各学校で実施し、1月下旬から2月上旬に優秀作品を学校回覧する

(4) 教育支援部

①代替職員派遣事業

- ・各学校からの要請に基づき、急遽補欠等の必要が生じた場合、授業の補助に当たる。

②小学校3, 4年生社会科見学への支援

- ・各小学校からの希望を取りまとめ日程等の調整
- ・見学期間 前期：5月末～6月末
後期：11月下旬～1月下旬

③学校で行う授業・行事等への支援

④キャリア教育への支援

- ・中学2年生の職場体験学習への支援



(5) 教育相談

※本年度はスーパーバイザーとして臨床心理士の筒井先生・春日先生・県より各小学校に配置されている3名のスクールカウンセラー(川崎・笹山・村松先生)に相談に関わってもらうこととなります。

①教育相談員による相談活動の継続

- ・就学関係の相談 ※5才児健診時の説明等(毎月)
- ・不登校関係の相談
- ・問題行動関係の相談 など

②特別支援教育及び就学についての支援活動

③問題をもつ児童生徒への支援

- ・ 定期の学校訪問
- ・ 必要に応じてケース会議，サポート会議等の開催
- ・ 要保護対策地域協議会の個別ケース会議等への参加



④教員サポート事業

- ・ 都留文科大学特任教授 宮下 聡先生・泉 宣宏先生を助言者にむかえ，学級経営等（学級づくり・授業づくり・生徒指導）について指導助言（授業参観と面接）

⑤学校をはじめ関係機関との連携

⑥各種研修会への参加

⑦学校・保護者との専門的な相談事業

都留文科大学学校教育学科教授；筒井先生，臨床心理士；春日先生，県より各小学校に配置されている3名のスクールカウンセラーの先生方に本センターのスーパーバイザーとして専門的見地から児童生徒並びに教師・保護者の相談に対応していただく。

（6）庶務部

- ①センター要覧，センター便りの発行・配布
- ②備品整備と貸し出し
- ③会議室貸し出し
- ④拡大コピー貸し出し

3 関係機関との連携

（1）都留文科大学との連携

- ①教育相談の実施（仲介）

（2）教育協議会との連携

- ①教育協議会行事への参加
- ②教育協議会研究部及び行事部の推進を支援する



（3）他の教育機関との連携

- ①市内の幼・保育園，適応指導教室，市内福祉事務所，児童相談所，県こころの発達総合支援センター，県総合教育センターとの連携を図る。